

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 2 4 号
件 名	コミュニティ協議会の諮問委員会議事録を虚偽作成し、発言意図を隠蔽する市民協働課長の濫吹について
要 旨	<p>平成 26 年 8 月 29 日開催「第 5 回地域コミュニティ協議会の支援のあり方検討委員会」における新藤幸生委員の発言は、住民の要望意見を縦割り組織にして精査した上、行政に反映させるものであった。(平成 26 年 9 月議会陳情第 115 号で提起)</p> <p>「住民意見→自治会→コミュニティ協議会→自治協議会→行政」 その発言には、「私が、ずっとたくらんで作った図でございます。」との前置き発言があるにもかかわらず「作った図でございます。」にかえて会議録を作成した。(虚偽記載)</p> <p>「私が、ずっとたくらんで」との発言は、「私が、時間をかけて検討して考えた……」との意味であり、「十分に検討、考察、熟慮……」との意図が伝わるものでなければならない。</p> <p>市民協働課長に対して、国語常識として指摘し、その部分の撤回または修正などを口頭及び文書(10 月 28 日付お伺書)で具申したが、全く意に介さず一蹴する対応であった。(10 月 31 日付回答書)</p> <p>(注)「たくら・む」とは、国語辞典によれば、「計画する。特に悪事をくわだてる。」(関連)陰謀、共謀、謀るなど</p> <p>したが、市民を愚弄した不正な諮問事務を看過することはできず、市民協働課が作成した会議録は虚偽記載であり、公表した会議録は捏造であることを新潟市議会の場において明らかにし、市民協働課長の作為を糾弾する。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 26 年 12 月 8 日 市民厚生常任委員会
受 理	平成 26 年 12 月 3 日 第 4 9 2 号